



国内肥料フォーラム
国内資源 FERTILIZER FORUM

国内肥料資源の利用拡大に
向けたマッチングフォーラム  近畿

2025

9/18 木

13:00~16:30 ※受付開始12:45予定

@マイドームおおさか

〒540-0029 大阪府大阪市中央区本町橋2-5

目次

はじめに	P2
会場マップ	P3
出展者一覧	P4
タイムスケジュール・登壇者紹介	P5
出展者詳細	P6
お問い合わせ先	P23
参考資料	P25

はじめに

我が国の農林水産業は、今まさにターニングポイントを迎えています。

気候変動等による世界的な食料生産の不安定化やロシアのウクライナ侵略など、食料の安定供給リスクが高まっており、食料の安全保障の強化が国家の緊急かつ最重要課題となっています。

農業生産に必要不可欠な肥料の多くは、海外からの輸入に依存しているため、国際市況や原料産出国の輸出動向の影響を受けやすい状況にあります。

こうした状況を踏まえ、持続可能な農業生産を実現するためには、堆肥や下水などの国内資源を活用した肥料の利用拡大と輸入原料からの転換が求められています。

このため、下水汚泥資源や畜産堆肥などの肥料原料を供給する事業者や肥料メーカー、肥料販売事業者、それら肥料を活用する耕種農家等の幅広い関係者が一堂に会し、関係事業者同士の情報交換や連携づくりの場となる「国内資源肥料フォーラム(正式名称:国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラム)」を開催いたします。

会場マップ



- | | |
|-------------------------------------|---------------------------|
| 1 公益財団法人八木町農業公社 | 25 株式会社天神製作所 |
| 2 株式会社服部 | 26 アイケイ商事株式会社 |
| 3 株式会社アサギリ | 27 前澤工業株式会社 |
| 4-5 南国興産株式会社 | 28 三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社 |
| 6 株式会社日本有機四国 | 29 シコー株式会社 |
| 7 朝日アグリア株式会社 | 30 新東亜交易株式会社／日本ゼウス工業株式会社 |
| 8 三興株式会社 | 31 神戸市 |
| 9 (株)井上政商店・(株)ピラミッド・(株)アイエム 共同出展 | 34 埼玉県下水道局 |
| 10 株式会社ウエルクリエイト | 35 能勢・ぎんぶなのうえん |
| 11 株式会社 山有 | 36 一般社団法人 全国肥料商連合会 |
| 12 (株)ユーグレナ・大協肥糧(株)・(株)タックジャパン共同出展 | 37 公益社団法人 日本下水道協会 |
| 13 水ingエンジニアリング株式会社 事業開発統括部 循環事業開発部 | 38 一般財団法人畜産環境整備機構 |
| 14 富士見工業株式会社 | 39 一般社団法人日本有機資源協会 |
| 15 豚ふん堆肥ペレット流通コンソーシアム | 40 農林水産省近畿農政局 |
| 16 牛ふんペレット広域流通コンソーシアム | 41 国土交通省近畿地方整備局 |
| 17 株式会社白崎コーポレーション | |
| 18 旭化成株式会社 | |
| 19 株式会社フジタ | |
| 20 株式会社オークネット・アイビーエス | |
| 21~24 JA全農・JAグループ | |

タイムスケジュール

12:45	受付開始
13:00～	開会・挨拶
13:05～	基調講演 / 後藤 逸男 氏(東京農業大学 名誉教授・全国土の会 会長)
13:55～	事例発表① / 神戸市経済観光局(下水汚泥からリンを抽出)
14:20～	事例発表② / 日世株式会社(食品廃棄物の再利用)
14:40～	事例発表③ / (有)J1・タケダファーム(牛ふんの堆肥化)
15:00～16:30	交流コアタイム
16:30～	閉会

登壇者紹介

基調講演

国内肥料資源を活用した
環境にやさしい
農業のすすめ

東京農業大学 名誉教授
全国土の会 会長
後藤逸男



事例発表

こうべ再生リンプロジェクトの
取組について

神戸市 経済観光局農政計画課
課長 佐藤大輔

事例発表

ソフトクリーム工場の廃棄物で
社会課題を解決

日世株式会社 プレスト生産部
技術保全課 所属長 村上仁宏

事例発表

地域での堆肥利活用
～J1・タケダファームの事例～
①オーガニックビレッジ ②耕畜連携

有限会社J1・タケダファーム
事業統括マネージャー兼場長 藤原義浩

ポスター展示

国内肥料資源利用拡大アワード
特設コーナー

R6年度を受賞団体の事例紹介ポスターの展示を実施

出展者詳細

Booth
1

公益財団法人八木町農業公社

肥料製造事業者



基本データ

所在地 京都府南丹市八木町八木東久保29-1 南丹市八木支所2階

公式サイト <http://himuronosato.jp/>

主要事業の概要

家畜ふん尿をメタン発酵しバイオ液肥7,000t/年・堆肥10,000t/年を販売し、副産物のバイオガスで発電等を行っている。

提供可能な肥料

家畜ふん堆肥(牛),家畜ふん堆肥(豚),食品残渣由来堆肥

出展担当

担当者 中川悦光

電話番号 0771-43-1128

メール info@himuronosato.jp



強み・特徴・販売などの実績

南丹市八木バイオエコロジーセンターは、家畜排せつ物と食品工場残渣(豆乳や豆かす)などを原料にメタン発酵による消化液と呼ばれる液肥と堆肥を製造しています。(公財)八木町農業公社は、メタン発酵消化液の液肥利用拡大を進めており、南丹市と共に京都府、JA京都等の指導を受けて、液肥による作物栽培の試験・研究を進めてきました。その結果、化成肥料による栽培と収量・食味ともに差がないことが実証されています。バイオマス資源を利活用した液肥を使用することにより、化成肥料の低減を図ると共に、安心・安全な農作物の推進を図っています。

Booth
2

株式会社服部

肥料製造事業者



基本データ

所在地 三重県四日市市広永町1343番地1

公式サイト <http://www.hattori-s.com/>

主要事業の概要

有機配合肥料製造事業

提供可能な肥料

国内資源を活用した肥料製品

出展担当

担当者 高梨光司

電話番号 059-365-2787

メール k.takanashi@hattori-s.com



強み・特徴・販売などの実績

地場の牧場から生産される牛ふん堆肥ペレットを受け入れ、単体品としての販売ではなく様々な原料と配合し、作物ごとに最適なNPKの成分量、土壌pHに大きく影響を与えない安価な配合肥料製品を開発しました。

又、弊社の営業スタイルである、「配合設計、施肥設計、畑の管理、経費の相談」等様々なご相談に応じる農業コンサルタントの立場で関係者の要望や意見を聴きながら、農家に最適な肥料として開発を行いました。

出展者詳細

Booth
3

株式会社アサギリ

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

静岡県内最大級のコンポスト設備で、年間約5万tの原料を受け入れ、140万袋(20kg袋)の製袋能力を有します。販売実績は20kg袋として40万袋/年、会社全体として2万t/を製造・販売。製品の特徴は、果樹・稲作・葉物野菜・根類野菜等種類を問わず使用可能。アサギリMIXには有用微生物やミネラルが豊富に含まれ完全熟成製品の為、臭いの少ない資材です。ペレット商品は機械散布可能です。

基本データ

所在地 静岡県富士宮市人穴203-51

公式サイト <https://asagiri.info/>

主要事業の概要

動植物性残渣・食品汚泥・下水汚泥・地域の牛ふんを原料とし、発酵処理をした有機質肥料の製造・販売。

調達希望の肥料原料

家畜ふん堆肥(牛),家畜ふん堆肥(ブロイラー),家畜ふん堆肥(採卵鶏),下水汚泥(コンポスト),食品残渣由来堆肥

出展担当

担当者 岩田宏樹

電話番号 0544-52-0212

メール h-iwata@asagiri-f.co.jp

Booth
6

株式会社日本有機四国

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

下水汚泥などの有機性廃棄物を再生し、安全性と品質を重視した有機質肥料を製造しています。

地元農家や自治体との連携により、地域資源の循環利用と農地の地力向上を支援。

民間農業法人への納入実績もあり、持続可能な国内肥料資源の活用に取り組んでいます。

基本データ

所在地 愛媛県西条市旦之上乙303-3

公式サイト <https://yuki-shikoku.co.jp>

主要事業の概要

産業廃棄物処理業、産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物処理業、産業廃棄物再生事業

提供可能な肥料

下水汚泥(コンポスト),食品残渣由来堆肥

出展担当

担当者 田窪祐二郎

電話番号 0898-66-5001

メール info@yuki-shikoku.co.jp

Booth
4~5

南国興産株式会社

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

たい肥を混合し成分調整した配合肥料の企画提案。

基本データ

所在地 宮崎県都城市高城町有水1941番地

主要事業の概要

レンダリング事業(チキンミール・ポークミール・牛肉骨粉他)肥料製造事業(有機質配合肥料、発酵肥料、PK肥料、液肥)農水産物事業(養豚・養鰻・ニラ)

提供可能な肥料

牛肉骨粉,食品残渣由来堆肥

出展担当

担当者 増田誠四郎

電話番号 0986-53-1062

メール smasuda@nangokunet.co.jp

Booth
7

朝日アグリア株式会社

肥料製造事業者



資源循環型農業へ
堆肥を極める
新たな **堆肥市場の創造**
堆肥活用肥料の全国展開

強み・特徴・販売などの実績

朝日アグリアは資源循環型社会の実現のため、強みである粒状加工技術、未利用資源活用力、新商品開発力を活かし、日本農業が抱える課題の解決を目指します。

堆肥と化成肥料を一粒にした混合堆肥複合肥料『エコレット』を日本で初めて販売して以降、堆肥活用肥料の普及拡大に努め、販売量は年間2万3千トンを超えました。

また下水汚泥燃焼灰の活用にも挑戦し、菌体りん酸肥料入り混合堆肥複合肥料を日本で初めて販売しました。

基本データ

所在地 東京都豊島区東池袋3丁目23番地5号Daiwa東池袋ビル

公式サイト <https://www.asahi-agria.co.jp/>

主要事業の概要

有機質肥料を主体に、家畜ふん堆肥をはじめとした国内肥料資源を積極活用した粒状複合肥料の製造、販売

調達希望の肥料原料

家畜ふん堆肥(牛),家畜ふん堆肥(豚),家畜ふん堆肥(採卵鶏),下水汚泥(回収リン),下水汚泥燃焼灰(菌体りん酸肥料)

出展担当

担当者 安河内孝晃

電話番号 03-3987-6179

メール t.yasukouchi@asahi-kg.co.jp

出展者詳細

Booth
8

三興株式会社

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

平成10年より堆肥(特殊肥料)として、家畜ふん堆肥・植物質類・米ぬか・副産石灰質肥料(卵殻又はかき殻)を混合堆積しペレット造粒 → 乾燥(水分約5%) スーパーコンボの生産を開始する。

枯草菌入り腐熟促進材の生産開始。

再生リン入り有機質肥料の製造開始。

指定混合肥料の生産開始。

基本データ

所在地 兵庫県赤穂郡上郡町竹万905

公式サイト <http://www.sankou-bio.com/>

主要事業の概要

有機質肥料の専業メーカーとして製造・販売に携わり、飼料用ペレット造粒機を肥料製造に国内で最初に導入する。現在は有機物(家畜ふん堆肥)・微生物(枯草菌)を活用した資源循環・環境保全型農業を提唱し、土づくり総合メーカーを目指す。

出展担当

担当者 山本 聖

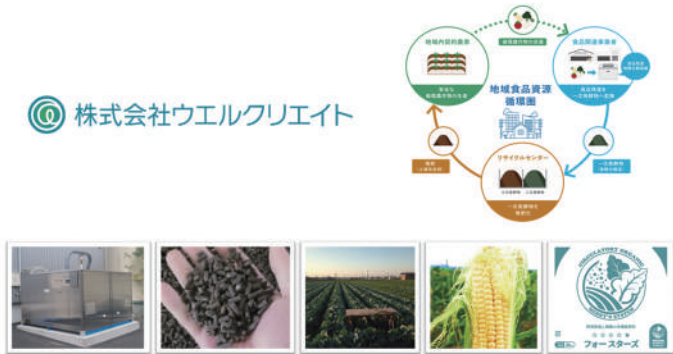
電話番号 0791-52-0037

メール sfsankou@leaf.ocn.ne.jp

Booth
10

株式会社ウエルクリエイト

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

食品残渣発酵分解装置「フォースターズ」の事業を通して、食品関連事業者様や農業生産者様と連携し食品資源循環を構築してきました。

フォースターズ由来の一次発酵物に鶏ふんを独自配合した環境にやさしい有機肥料フォースターズは、ペレット状で扱いやすく、国内有機資源の活用による有機率向上と、化成肥料の削減によるコスト低減を実現します。

基本データ

所在地 福岡県北九州市若松区向洋町10番1

公式サイト <https://www.well-c.co.jp/>

主要事業の概要

食品残渣発酵分解装置フォースターズの製造・販売・レンタル

有機質堆肥と食品残渣鶏糞混合肥料の製造・販売

調達希望の肥料原料

家畜ふん堆肥(採卵鶏)

出展担当

担当者 谷口ゆり

電話番号 06-6318-8037

メール taniguchi@well-c.co.jp

Booth
9

(株)井上政商店・(株)ピラミッド・
(株)アイエム共同出展

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

製品の発酵熟度が高く、肥料として窒素やリン酸及び多くの微量元素を含有し、また、活性の強い腐植酸や有益微生物も含まれており、土壌の物理性、化学性及び生物性の改善にも役立てる。

一定の量を使えば、化学肥料使用量の削減も可能で、長年にわたって使えば、土壌の良い状態が維持され、持続的な農業生産が可能になる。

なお、福岡及び栃木にそれぞれ製造工場を持っており、全国的に出荷することも可能。

基本データ

所在地 福岡県糸島市飯原400

公式サイト (株)井上政商店: <https://inouemasa.co.jp/>
(株)ピラミッド: <https://www.pyamd.co.jp/eco/>

主要事業の概要

(株)井上政商店と(株)ピラミッドは高品質汚泥発酵肥料の製造、(株)アイエムは両社製品の販売業者である。

調達希望の肥料原料

下水汚泥(コンポスト)

出展担当

担当者 茅 洪新

電話番号 03-6450-4204

メール h.mao@inouemasa.co.jp

Booth
11

株式会社 山有

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

超高温好気性発酵は45日設計の高速堆肥化です。

副資材を必要とせず、含水率90%超のバイオマスも30%以下の取り扱いきやすい肥料になります。

鹿児島市下水汚泥堆肥化場を43年間維持管理しています。

代理店を通じて22道県約40工場に技術提供しています。

基本データ

所在地 鹿児島市城南町7番47号210

公式サイト <https://ym-sanyuu.co.jp/>

主要事業の概要

「YM菌」による超高温好気性発酵で下水汚泥等を堆肥化。完成品を年間約5,000t緑地還元しています。

提供可能な肥料

汚泥肥料 かんとりースーパー

出展担当

担当者 坂元貴幸

電話番号 099-225-3956

メール sakamoto@ym-sanyuu.co.jp

出展者詳細

Booth 12 | (株)ユーグレナ・大協肥糧(株)・(株)タックジャパン共同出展

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

(株)ユーグレナ、大協肥糧(株)では、(株)タックジャパンと協力し、微細藻類ユーグレナをはじめとした独自素材及び有機原料を使用した高品質な肥料を製造、販売しております。

また、農林水産省の「中日本における混合堆肥複合肥料の生産・流通モデルの実証」にも取り組み、鶏ふん堆肥と化学肥料等を混合し、生産者の肥効ニーズに即した高品質・高付加価値なペレット堆肥の製造を目指しています。

基本データ

所在地 (株)ユーグレナ 東京都港区芝5-29-11
大協肥糧(株) 大阪府藤井寺市川北2丁目1-29
(株)タックジャパン 岐阜県大垣市開発町5丁目71番地の1

公式サイト (株)ユーグレナ <https://www.euglena.jp/>
大協肥糧(株) <https://daikyo-hiryo.co.jp/>
(株)タックジャパン <https://tacjapan.co.jp/>

主要事業の概要

(株)ユーグレナ:微細藻類ユーグレナをはじめとした独自素材の製造、販売。
大協肥糧(株):有機配合肥料、有機配合ペレット、その他各種肥料の製造・販売
(株)タックジャパン:畜産飼料・農業資材(国内及び輸出)・畜産設備の販売

提供可能な肥料

微細藻類粉末(ユーグレナ・クロレラ乾燥粉末)
オーダーメイド配合肥料、配合ペレット等

出展担当

担当者 稲子史江
電話番号 080-4661-7061
メール fumie.inako@euglena.jp

Booth 14 | 富士見工業株式会社

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

創業70年の実績を背景に、農業・緑化資材の分野で全国に事業を展開しています。

家畜ふんや地域由来の資源など、地域に眠る循環資源を広域的な流通ネットワークで有効活用し、堆肥や土壌改良資材として提供しています。

農地への施用はもちろん、道路や公園などの緑化事業にも幅広く対応しており、地域の特性や用途に応じた提案力と、安定した供給体制を強みに、環境改善と地域社会への貢献を両立させる取り組みを進めています。

基本データ

所在地 静岡県静岡市駿河区富士見台1丁目21番22号
公式サイト <https://fujimi-group.co.jp/>

主要事業の概要

農業資材・緑化資材を全国に展開。多様な業種様と連携し、自然資源を活かした製品を提供しています。

提供可能な肥料

家畜ふん堆肥(牛)、家畜ふん堆肥(豚)、家畜ふん堆肥(ブロイラー)、家畜ふん堆肥(採卵鶏)、下水汚泥(コンポスト)、食品残渣由来堆肥、鶏ふん燃焼灰

出展担当

担当者 市山 潤
電話番号 054-282-2484
メール j.ichiyama@fujimi-group.co.jp

Booth 13 | 水ingエンジニアリング株式会社
事業開発統括部 循環事業開発部

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

1. リン回収・肥料化 平成24年度、神戸市東灘処理場でのB-DASH実証プロジェクト(国交省)に採択。

リン回収装置を通じて、下水の消化汚泥から回収リンを取り出し、リン資源を活用した肥料「こうべハーベスト」の開発、製造等を行う。

2. コンポスト化 下水汚泥資源活用促進モデル実証(農水省)の進行管理役として参画(令和5〜7年度)。

下水汚泥と地域資源を併せた堆肥化実証プロジェクトを実施中。

基本データ

所在地 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル27階
公式サイト <https://www.swing-w.com>

主要事業の概要

暮らしや産業に欠かせない水を支える様々な事業領域で、最適なソリューションを提供します。

提供可能な肥料

下水汚泥(回収リン)

出展担当

担当者 青澤文顕
電話番号 090-3826-6857
メール aozawa.fumiaki@swing-w.com

Booth 15 | 豚ふん堆肥ペレット流通コンソーシアム

その他



強み・特徴・販売などの実績

農研機構、長崎県、kbfなどの研究機関と、JA長崎県、片倉コープアグリ株式会社、ペレット製造販売を行う養豚農家という製造・販売事業者、栽培農家という利用側の3者が共同で研究開発・実証を行っており、開発技術はそのまま現場に利用できるという特徴がある。

基本データ

所在地 熊本県阿蘇市一の宮町宮地5816特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム内
公式サイト <https://kbiomass.org>

主要事業の概要

豚ふん堆肥の追熟技術、ペレット製造技術、水稲や野菜類、果樹類への特殊肥料入り指定混合肥料や混合堆肥複合肥料の製造技術開発と栽培実証試験を実施

出展担当

担当者 薬師堂謙一
電話番号 0967-22-1013
メール yakushido@kbiomass.org

出展者詳細

Booth
16

牛ふんペレット広域流通コンソーシアム

その他



強み・特徴・販売などの実績

耕種農家が使用しやすい牛ふん堆肥を用いた指定混合粒状肥料の品質改善を図り、粒状肥料製品を試作し、肥効の検証の後製品化を行い、広域流通を展開する。

基本データ

所在地 茨城県つくば市池の台2農研機構畜産研究部門
公式サイト <https://www.affrc.maff.go.jp/docs/pellet-compost/gaiyo/attach/pdf/index-3.pdf>

主要事業の概要

牛ふん堆肥を活用した粒状肥料にかかる技術開発を行っている

提供可能な肥料原料

家畜ふん堆肥(牛)

出展担当

担当者 小島陽一郎
電話番号 029-838-8679
メール kojima.yoichiro492@naro.go.jp

Booth
18

旭化成株式会社

その他



AsahiKASEI

Creating for Tomorrow

強み・特徴・販売などの実績

■技術概要：農研機構発プロバイオニクス技術を導入し、自動で消化液等のバイオマスから液肥を製造する「Nature Ponics®システム」を開発

■製品の特長：①装置：有機質の窒素成分を硝酸態窒素まで分解した液肥を自動で製造②液肥：窒素成分は硝酸態のため、速効性があり養液栽培でも利用可能

■実績：現在技術開発中、将来的には消化液等のバイオマス発生事業者への装置販売、製造液肥の販売を実施予定。試験使用にご協力いただける農家様募集

基本データ

所在地 東京都千代田区有楽町1-1-2日比谷三井タワー
公式サイト <https://www.asahi-kasei.com/jp/>

主要事業の概要

メタン消化液などのバイオマスから液体肥料を自動で製造する装置の技術・事業開発中

出展担当

担当者 恩田麻由
電話番号 03-6699-5895
メール foodagri-pj-ml@aml.asahi-kasei.co.jp

Booth
17

株式会社白崎コーポレーション

その他



強み・特徴・販売などの実績

自然由来の菌を弊社のバイオ技術で品質をコントロールしながら発酵培養させた人にも地球にも優しい複合微生物「菌んぐ」シリーズ。

堆肥工場の悪臭の原因であるアンモニア臭、トリチルアミンなどのニオイに対し高い消臭効果があり、施設内の臭気改善、近隣からの苦情対策でご利用いただいております。

化学物質を一切使用してませんので、堆肥の品質にも全く影響がありません。

基本データ

所在地 福井県鯖江市石生谷町11-23
公式サイト <https://www.shirasaki.co.jp/>

主要事業の概要

「地球資源の保護、環境にやさしい」事業を追求し、再生トナーの製造販売、防草・植栽シートの企画開発から製造販売、その他農業資材等の販売を全国に展開しております。

出展担当

担当者 和原 剛
電話番号 03-3667-9881
メール t-wahara@shirasaki.co.jp

Booth
19

株式会社フジタ

その他



強み・特徴・販売などの実績

強み・特徴・未利用バイオマス(を炭化した炭化物)の有効活用・下水汚泥分離液等からのリン回収・脱炭素・資源循環及び土壌の地力回復効果を有する肥料および堆肥の製造・「地球を冷やす作物」といったブランディング化支援・中性域のバイオ炭肥料

基本データ

所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2 修養団SYDビル
公式サイト <https://www.fujita.co.jp/>

主要事業の概要

バイオ炭から製造したプライムカーボン®を用いて下水処理場からリンを回収し、肥料や堆肥に加工、販売する。

提供可能な肥料原料

リン含有バイオ炭

出展担当

担当者 倉谷直樹
電話番号 03-3402-1911
メール naoki.kuratani@fujita.co.jp

出展者詳細

Booth
20

株式会社オークネット・アイビーエス

その他



実りある世界は、
日本の堆肥から。

基本データ

所在地

東京都港区北青山2-5-8

公式サイト

<https://aucnet-ibs.com/>

主要事業の概要

堆肥化ノウハウをデジタル化するための「TAIHI IoT」サービスを提供しています。

強み・特徴・販売などの実績

従来、堆肥製造工程において堆肥の温度をアナログ的に測定し、属人的なタイミングで攪拌・散水を行っていました。

このアナログ的測定と属人化を解決するために、堆肥温度の自動測定および自動収集を行なう温度センサーデバイスと、温度および堆肥攪拌のタイミングを可視化するためのダッシュボードを開発しました。

出展担当

担当者

間宮 弥生

電話番号

03-6440-2680

メール

mamiyay@ns.aucnet.co.jp

Booth
25

株式会社天神製作所

農業機械メーカー



基本データ

所在地

宮崎県都城市都北町7210-2

公式サイト

<https://tenjin-tm.co.jp>

主要事業の概要

畜ふん及び汚泥堆肥化・ペレット機の製造・販売

強み・特徴・販売などの実績

畜ふんや汚泥を効率的に堆肥化させ、ペレット化や袋詰めをすることが可能。

全国500カ所以上の実績でお客様の製品堆肥の販売や紹介も可能

出展担当

担当者

天神 隆

電話番号

0986-47-1825

メール

tenjin.t@tenjin-tm.co.jp

Booth
21~24

JA全農・JAグループ

その他



基本データ

所在地

東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル

公式サイト

<https://www.zennoh.or.jp/>

主要事業の概要

JA全農グループは農畜産物・生産資材の購入・販売といった経済事業に取り組んでいます。

強み・特徴・販売などの実績

国内肥料メーカーと協力し、家畜糞せつ物由来の堆肥、鶏糞燃焼炭、下水由来の再生リンといった国内肥料資源を原料とした肥料製品の開発・普及を進めています。

また、耕畜連携のマッチング促進を目的としたwebサイト「耕×畜なび」を開発・公開し、堆肥の利活用を普及啓発しています。

出展ブースでは「耕×畜なび」やグループで展開する肥料事業の紹介、畜糞堆肥のサンプルを展示します。

出展担当

担当者

石川 梨良

電話番号

03-6271-8215

メール

ishikawa-rira@zennoh.or.jp

Booth
26

アイケイ商事株式会社

農業機械メーカー



基本データ

所在地

千葉県香取市虫幡942

公式サイト

<https://www.iksyoji.co.jp/>

主要事業の概要

畜産糞尿の固液分離機、自動堆肥攪拌機の販売。牛舎、豚舎、鶏舎、堆肥舎のプランニングと建設。

強み・特徴・販売などの実績

37年にわたり、畜産生産者との強いパイプをもっており、畜産農家の悩みに精通している。

人手不足に対応した、畜産糞尿の固液分離機や堆肥自動攪拌機の販売は全国におよぶ。

畜舎建設から糞尿処理プラントまで設計、施工の実績あり。

出展担当

担当者

坂本 真吾

電話番号

0478-82-7121

メール

s.shingo@iksyoji.co.jp

出展者詳細

Booth 27 | 前澤工業株式会社

農業機械メーカー



切り返し不要で省力化。高温発酵で良質堆肥

堆肥化用通気装置で悪臭の発生も防ぎ、処理量アップ

イージージェットのご紹介

強み・特徴・販売などの実績

切り返し不要な高圧通気型堆肥方式

- 1.技術の概要 プロワの50倍の高圧空気を堆肥に送ることで、酸素が均一に内部まで浸透するエアレーション装置です。
 - 2.技術の特徴 イージージェットの特徴は以下の通りです。
 - 1)冬季でも高温発酵
 - 2)臭気の改善
 - 3)切り返し不要
 - 4)発酵期間短縮
 - 5)メンテナンスが容易
- 3.実績～全国66カ所、下水汚泥・生ごみ・食品残渣・食品残渣・畜糞等

基本データ

所在地 埼玉県川口市仲町5番11号
公式サイト <https://www.maezawa.co.jp/ja/>

主要事業の概要

上下水道プラント・装置・及びメンテナンス堆肥化設備販売・据付

出展担当

担当者 町田和大
電話番号 048-253-0907
メール kazuhiro_machida@maezawa.co.jp

Booth 29 | シコー株式会社

その他



強み・特徴・販売などの実績

産業用各種包装資材を製造販売している会社です。大型紙袋・ポリエチレン重包装袋・プラスチック段ボールなどメーカーが使用する資材を製造しており、企業にとって無くてはならないモノを取り扱っています。当社の名前を初めて知った方も多いと思いますが、私たちの提供している製品はもう既にどこかで必ず見られたことがあると思います。皆さんの身近なところの生活関連や工業・農業分野など各種分野で活躍しています。お客様にご満足頂けるサービスの提供や特許の取得など技術力を背景に市場の拡大を目指しています。また、当社ではホームページを使い包装容器の見えないニーズを分かりやすく可視化し、解決策をご提案するデジタルマーケティングを導入しており、お問い合わせを頂いたお客様と一緒に開発を進めております。

基本データ

所在地 大阪府大阪市北区梅田1-1-3-1500号
大阪駅前第3ビル15階
公式サイト <https://www.siko.co.jp/>

主要事業の概要

肥料などを包材

提供可能な肥料原料

肥料関係全般

出展担当

担当者 妹尾邦洋
電話番号 06-6345-8451
メール k-senoo@siko.co.jp

Booth 28 | 三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社

農業機械メーカー



通常液肥

濃縮

バイオ液肥

強み・特徴・販売などの実績

し尿・浄化槽汚泥等を原料とする液肥(消化液)の肥料成分(窒素、カリウム)をUF膜分離と電気透析で濃縮を行い、資源循環型農業の普及を目指した濃縮バイオ液肥の製造に取り組んでいます。

当設備には当社グループ製中空糸膜を用いています。この液肥濃縮技術は、農林水産省「みどりの食料システム戦略」において2050年までの目標とされている、化学肥料の使用量の30%低減に貢献できる最適な技術です。

基本データ

所在地 東京都中央区日本橋本石町1-2-2
公式サイト <https://www.mcas.co.jp/>

主要事業の概要

各種産業分野向け排水処理事業、分離精製事業及び植物工場事業等のシステム提案を行うプラントメーカー

提供可能な肥料原料

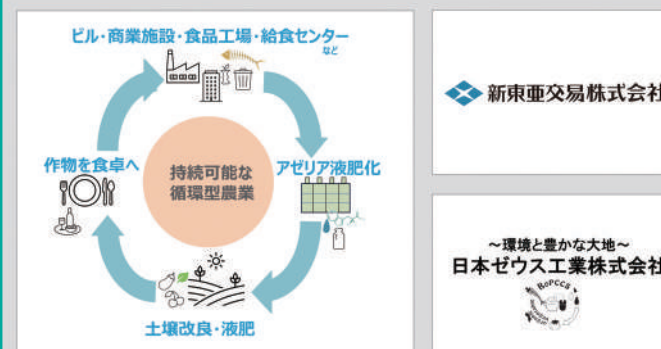
し尿、浄化槽汚泥等(生ごみ、畜産糞尿等も検討可能)

出展担当

担当者 長尾 衛
電話番号 03-6848-4219
メール mamoru.nagao.ma@mcgc.com

Booth 30 | 新東亜交易株式会社 / 日本ゼウス工業株式会社

その他



強み・特徴・販売などの実績

企業のGX推進と国内農業をつなぐ新しい取り組みを進めています。ビルや商業施設、食品工場、給食センターなどから排出される廃棄物を原料に微生物による液化発酵処理によってアミノ酸主体の有機液体肥料を生成、この液肥を活用することで高品質な作物栽培を実現するサーキュラエコノミー事業です。

各地で地域循環が生まれており、廃棄物原料という心理的なハードルを越えられる高品質な作物栽培を実現しています。

基本データ

所在地 東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル8階
公式サイト <http://www.n-zeusu.co.jp/sub/company.html>

主要事業の概要

食品廃棄物を原料に有機液体肥料を生成、高品質栽培を実現するサーキュラエコノミー取組

出展担当

担当者 望月 順
電話番号 03-3286-0396
メール j-mochizuki@sda.shintoa.co.jp

出展者詳細

Booth
31

神戸市

その他

資源循環「こうべ再生リン」プロジェクト

BE KOBE

“こうべハーベスト肥料”を
農作物栽培に活用

食物に含まれるリンが
し尿となり下水へ

下水の汚泥より
肥料の原料となる
“こうべ再生リン”を回収・販売
(リン酸マグネシウムアンモニウム)

こうべ再生リンと
有機肥料等を配合し、
“こうべハーベスト肥料”を製造

野菜・花用 水陸用 山田緑地用

強み・特徴・販売などの実績

市内の下水処理場において、下水に含まれるリンを回収し、これを「こうべ再生リン」として肥料原料として供給しています。
肥料製造事業者がこれをもとに「こうべハーベスト」肥料を製造し、市内農業者に販売しています。
市としては、市民、農業者に向けて、この取り組みの意義を発信し、地域資源循環の取り組みを広げようとしています。

基本データ

所在地

兵庫県神戸市中央区御幸通6-1-12

公式サイト

<https://www.city.kobe.lg.jp/a78445/kurashi/sumai/sewage/projects/phosphorus01.html>

主要事業の概要

人口100万人以上の大都市の中では1位、近畿圏でも市町村別で3位の農業産出額を誇っています。

提供可能な肥料原料

家畜ふん堆肥(牛)、下水汚泥(回収リン)

出展担当

担当者

野中善子

電話番号

078-984-0369

メール

nouseikeikakuka@city.kobe.lg.jp

Booth
35

能勢・ぎんぶなのうえん

肥料利用者

強み・特徴・販売などの実績

施肥技術による農業不使用のIPMや、固定種品種の土着化による栽培管理省力化の実証に取り組んでいます。
慣行栽培の施肥技術の進化形として、有機栽培の考え方を絶妙に折衷し、現場の実情に即した、物質循環型の園芸技術開発を指向しています。
肥料利用者の立場として、肥料・培養土開発の技術シーズを保有しています。

基本データ

所在地

大阪府豊能郡能勢町片山186-1

公式サイト

<https://media.funaan.org/sustainability/>

主要事業の概要

原種・固定種の花き・野菜等種苗の生産及び園芸技術の試験研究
園芸教育の推進および園芸文化の振興に関する機会の創出に関すること

調達希望の肥料原料

植物性または鉱物質の肥料(非動物性)

出展担当

担当者

井田裕之

電話番号

090-5899-3753

メール

hen-na-funa@agri.funaan.org

Booth
34

埼玉県下水道局

国内肥料原料供給者

強み・特徴・販売などの実績

○下水汚泥の焼灰は「りん酸」を豊富に含むことから、令和6年4月に菌体りん酸肥料に登録「荒川クマムシくん1号」。
○肥料原料の国内資源化、資源循環を推進。
○安全性確保のため、焼灰肥料は全ロットで有害成分を分析し、基準適合を確認。

基本データ

所在地

埼玉県さいたま市浦和区高砂3-13-3

公式サイト

<https://www.pref.saitama.lg.jp/c1502/shigen/hiryou.html>

主要事業の概要

下水処理工程で発生する汚泥の焼灰を菌体りん酸肥料に登録し、複合肥料の原料として販売しています。

提供可能な肥料原料

下水汚泥焼灰

出展担当

担当者

奥村 健

電話番号

048-830-5453

メール

a5448-01@pref.saitama.lg.jp

Booth
36

一般社団法人 全国肥料商連合会

相談窓口

強み・特徴・販売などの実績

国内資源由来肥料の利用拡大に係る製品開発、流通促進、普及活動に対する、各段階における事業推進のための相談を受付けます。

基本データ

所在地

東京都文京区本郷3丁目3番1号お茶の水KSビル 3階

公式サイト

<https://www.zenpi.jp>

主要事業の概要

商人系肥料流通事業者により構成する団体、日本で唯一の全国組織。

出展担当

担当者

西出邦雄

電話番号

03-3817-8880

メール

nishide@zenpi.jp

出展者詳細

Booth
37

公益社団法人 日本下水道協会

相談窓口



公益社団法人 日本下水道協会

基本データ

所在地

東京都千代田区内神田2-10-12内神田すいすいビル6階

公式サイト

<https://www.jswa.jp/gx/>

主要事業の概要

日本下水道協会では3つの役割(シンクタンク、スポークスマン、ナレッジセンター)を踏まえ地方公共団体及び民間企業に対する事業支援を行い、下水道事業を促進し、さらに進化、成熟化させることにより持続可能な社会の構築に寄与しています。

提供可能な肥料原料

下水汚泥(コンポスト)、下水汚泥(回収リン)

出展担当

担当者

前田明徳

電話番号

03-6206-0369

メール

shishin@ngsk.or.jp

強み・特徴・販売などの実績

日本下水道協会では地方公共団体に対し、下水道GX(グリーントランスフォーメーション)として、国内肥料資源に関する有用な情報提供を行うことにより下水道事業を促進し持続可能な社会の構築を進めています。

さらに下水汚泥由来肥料から栽培される下水道発食材に対し、「じゅんかん育ち」の商標登録を行い、幅広く使っていただけるよう取組みを進めています。

Booth
39

一般社団法人日本有機資源協会

相談窓口



一般社団法人日本有機資源協会

基本データ

所在地

東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館301

公式サイト

<https://www.jora.jp/>

主要事業の概要

バイオマス活用による循環型社会の構築、地域活性化、環境保全、新産業の創出

相談対象

- ・バイオ液肥の製造・メタン発酵システム全体
- ・バイオ液肥の成分特性
- ・バイオ液肥の施用方法(時期・場所・運搬・散布車両・散布装置等)
- ・バイオ液肥を固液分離した固分の堆肥または再生敷料としての利用
- ・地域でバイオ液肥を活用するための計画づくり

出展担当

担当者

土肥哲哉

電話番号

03-5618-5618

メール

hiryo2023@jora.jp

Booth
38

一般財団法人畜産環境整備機構

相談窓口



基本データ

所在地

東京都港区虎の門5-12-1 ワイコービル3F

公式サイト

<https://www.leio.or.jp/>

主要事業の概要

家畜ふん尿の低コストで確実な処理・利用技術の開発
環境保全型畜産経営技術や総合的飼養管理技術の体系化

出展担当

担当者

羽賀清典

電話番号

03-3459-6300

メール

haga@leio.or.jp

強み・特徴・販売などの実績

家畜ふんの堆肥化施設設計マニュアルの出版
家畜ふん堆肥を用いた混合堆肥複合肥料に関するマニュアルの出版
牛豚鶏の畜種別の造粒堆肥の混合利用に関するマニュアルの出版
高肥料成分ペレット堆肥の調製と安定貯蔵技術に関するマニュアルの出版
堆肥分析(有料)

Booth
40

農林水産省近畿農政局

相談窓口



基本データ

所在地

京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町

公式サイト

<https://www.maff.go.jp/kinki/>

近畿農政局の取組概要

近畿農政局では、近畿地域における国内肥料資源の利用拡大に向けセミナーや情報交換会の開催、関連施策の推進を行っています。

また、農林水産大臣に登録した肥料の登録更新申請及び各種届出や指定混合肥料の届出の受付・相談を行っています。

受付相談内容等

- ・国内肥料資源利用拡大事業の活用などに関する情報提供・相談
- ・肥料登録手続き等に関する情報提供、相談

出展担当

担当者

近畿農政局生産部環境・技術課 高橋倫子

電話番号

075-451-9161(代表)

メール

kinki_shizai@maff.go.jp

出展者詳細

Booth
41

国土交通省近畿地方整備局

相談窓口



基本データ

所在地 大阪府大阪市中央区大手前3丁目1-41

公式サイト <https://www.kkr.mlit.go.jp/>

国土交通省の取組概要

国土交通省では、自治体に対して、下水污泥肥料の検討手順書(案)の公表や、下水污泥の成分分析、案件形成の支援事業、施設整備について財政支援を行っています。

受付相談内容等

- ・下水道事業の推進に関する情報提供・相談
- ・下水汚泥資源の肥料化に関する情報提供・相談
- ・国土交通省の財政支援の情報提供・相談

出展担当

担当者 近畿地方整備局河川部 上下水道調整官 伴善友

電話番号 06-6942-4407

メール ban-y86zy@mlit.go.jp

お問い合わせ先

令和7年度 国内肥料資源の利用拡大に向けた
マッチングフォーラム in 近畿 開催事務局

株式会社マイナビ 農業活性事業部

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル6F

 **agri-hiryô@mynavi.jp**

メモ

国内肥料資源推進ロゴマークについて

農林水産省では、令和5年2月に「国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会（以下「全国推進協議会」という。）」を設置し、この全国推進協議会の取組の一環として、令和5年6月に「国内肥料資源の利用拡大プロジェクト」を立ち上げるなど、国内の肥料関係者間のマッチング機会の提供、先進事例の横展開・関連情報の発信等、全国各地における国内資源由来肥料の利用拡大に向けた種々の取組を行っています。

令和5年8月に、国内肥料資源の利用拡大に関する取組を更に推進するため、各会員のHP等への掲載など広報活動への利用や、国内資源由来肥料に添付可能な「国内肥料資源推進ロゴマーク」を作成いたしました。是非、様々な用途でご利用ください。

国内肥料資源 推進ロゴマーク



【全国推進協議会会員名】は、国内肥料資源の利用拡大に賛同しています

利用例



ロゴマークの利用方法について

本ロゴマークの利用を希望する会員の方は、下記URL先に掲載の「国内肥料資源推進ロゴマーク利用規程」等をご覧ください、利用申請書等必要書類を下記提出先までお送りください。

会員登録をされていない方は、次ページ掲載の「国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会について」をご確認の上、会員登録をお願いいたします。

（国内肥料資源の利用拡大プロジェクト 3 . 国内肥料資源推進ロゴマークの作成）

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_hiryo/kokunaishigen/zenkokukyougikai/project.html

【担当者・お問合せ先・提出先】

農林水産省農産局技術普及課国内肥料資源推進ロゴマーク担当
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
TEL: 03-6744-2107、E-mail: kokunai_shigen@maff.go.jp

国内肥料資源
推進ロゴマークの作成



国内肥料資源の利用拡大に向けた 全国推進協議会について

趣旨

農業生産に必要な肥料については、その原料の多くを海外に依存していることから、国際市況や原料産出国の輸出に係る動向の影響を強く受け易い状況となっている。

こうした中、農業生産を持続可能なものにするためには、堆肥や下水など肥料成分を含有する国内資源の肥料利用を拡大し、輸入原料に過度に依存した肥料利用からの転換を進めていく必要がある。

このため、国内資源の肥料利用の拡大に向け、関係団体・関係事業者の取組方針等を共有するほか、関係事業者間のマッチング等を進めることなどにより、原料供給から肥料製造、肥料利用まで連携した取組を各地で創出していくことを支援する。

役割・主な活動内容

- | | |
|--------------------------------------|---|
| <h4>I 広域的な連携の
取組のサポート</h4> | 事業者間のマッチング機会（国内資源利用体制の構築）の場を提供し、新たな連携づくりをサポートします。 |
| <h4>II 生産現場での利用拡大に
向けた取組を推進</h4> | 先行事例等を基に、国内資源由来肥料の導入メリットや、生産現場での導入に当たって留意すべき事項等を取りまとめ、生産現場における国内資源の肥料利用の拡大に向けた取組を推進します。 |
| <h4>III 先進事例の横展開・
関連情報の提供</h4> | 農水省HPにおいて、関連施策情報のほか、会員からの情報を随時受け付け、多様な関係者による取組に関する情報や知見をタイムリーに発信します。 |

出典：農林水産省 (https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_hiryo/kokunaishigen/zenkokusuishin.html)

会員登録について（随時受付中）

農林水産省では、国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会の設立趣旨に賛同する会員を募集しています。下記の各号に該当する者であって、会員となることを希望される場合は、下記URLより会員登録を行ってください。

- （ア）全国推進協議会の設立趣旨に賛同し、全国推進協議会の活動に協力すること。
- （イ）会員相互で提供情報を共有することに同意していること。
- （ウ）反社会的勢力に該当しないこと及び反社会的勢力と関わりを持たないこと。

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/nousan/sizai/member_registration.html

会員登録について

